産業連関表からみた
２０２４年朝来市の経済構造

目次

- １　朝来市の投入･産出構造
- ２　朝来市の経済循環構造
- ３　朝来市産業の生産構造
- ４　朝来市産業の域際収支構造
- ５　産業部門相互の影響

1　朝来市の投入･産出構造

（1）産業連関表の各ブロック別数値

— —　需要側　— —　　（単位:億円）

供給側		産業A	産業B	産業C	･･･	小計	民間消費	設備投資	･･･	移輸出	小計	移輸入	合計
生産物の供給	産業A 産業B 産業C ･･･ ･･･ 小計	中間需要（中間投入） 1,032					最終需要 2,339					市外から購入 ▲1,286	生産額 2,085
生産要素の供給	労働 資本 ･･･ 小計	粗付加価値 1,053											
	合計	生産額 2,085											

朝来市産業連関表基準年の生産額等の比較

基準年	生産額(百万円)	人口(人)	1人当たり生産額(万円)	生産額の多い産業ベスト3 （億円）
2009	193,520	34,188	566	飲食料品 144、卸売小売 140、医療･福祉 132
2014	200,609	32,274	622	電力 209、金属製品 166、卸売小売 152
2019	194,115	30,218	642	電力 169、金属製品 162、飲食料品 157
2024	208,473	27,745	751	金属製品 219、飲食料品 192、電力 184

1　朝来市の投入･産出構造
（2）　中間投入と粗付加価値

朝来市の投入ブロックの内訳

— —　需要側　— —

供給側		産業A	産業B	産業C	・・・	小計
生産物の供給	産業A 産業B 産業C ・・・ ・・・ 小計	中間投入 **49.5%**				
生産要素の供給	労働 資本 ・・・ 小計	粗付加価値 **50.5%**				
	合計	生産額　**100%**				

粗付加価値に占める割合
↓

労働	雇用者所得	53.4%
資本	営業余剰	14.8%
資本	減価償却	21.8%
その他	間接税等	9.9%

朝来市産業連関表基準年の粗付加価値額等の比較（金額は百万円）

基準年	粗付加価値額	粗付加価値率	雇用者所得		営業余剰	
2009	103,371	53.4%	57,083	55.2%	19,385	18.8%
2014	99,613	49.7%	55,954	56.2%	10,241	10.3%
2019	104,096	53.6%	54,667	52.5%	18,393	17.7%
2024	105,300	50.5%	56,282	53.4%	15,583	14.8%

1　朝来市の投入･産出構造
（3）　最終需要の約6割を占める民間消費

「民間消費支出」は地域内の最終需要項目の中で最も大きな項目である

— —　需要側　— —　　（単位：億円）

供給側		産業A	産業B	産業C	・・・	小計	民間消費	設備投資	・・・	市内最終需要	移輸出	最終需要計	移輸入	合計
生産物の供給	産業A 産業B 産業C ・・・ ・・・ 小計	中間需要（中間投入）					667			1,142				生産額
生産要素の供給	労働 資本 ・・・ 小計	付加価値												
	合計	生産額												

民間消費支出は市内最終需要の 58.4%を占める

朝来市産業連関表基準年の民間消費支出等の比較

基準年	民間消費支出額（億円）		人口1人当たり消費支出額（万円）	消費支出額の多い産業ベスト3（億円）
2009	679	60.6%	199	不動産 166、卸売小売 114、飲食料品 54
2014	648	57.2%	201	不動産 144、卸売小売　93、飲食料品 58
2019	638	57.3%	211	不動産 150、卸売小売　96、飲食料品 58
2024	667	58.4%	240	不動産 154、卸売小売 109、飲食料品 58

↑　市内最終需要に占める割合

1　朝来市の投入･産出構造

（4）　移輸出は域外マネーの稼ぎを示す

産業連関表での「移輸出」は地域の稼ぐ力の大きさをみるための重要なデータ

— —　需要側　— —　　（単位：億円）

供給側		産業A	産業B	産業C	・・・	小計	民間消費	設備投資	・・・	移輸出	最終需要計	移輸入	合計
生産物の供給	産業A 産業B 産業C ・・・ ・・・ 小計	中間需要（中間投入）								市外へ販売 1,198		市外から購入	生産額 2,085
生産要素の供給	労働 資本 ・・・ 小計	付加価値											
	合計	生産額											

朝来市が稼いだ外貨の額

地域が外から稼ぐ力を示す指標

移輸出率　＝　移輸出 / 生産額

朝来市産業連関表基準年の移輸出額等の比較（金額は億円）

基準年	移輸出額	移輸出率	移輸出の多い産業ベスト3
2009	1,081	0.55881	飲食料品 142、金属製品 112、電気機械 91
2014	1,012	0.50442	金属製品 166、飲食料品 144、電力 129
2019	983	0.50628	金属製品 161、飲食料品 152、一般機械122
2024	1,198	0.57444	金属製品 215、飲食料品 192、一般機械 169

1　朝来市の投入･産出構造

（5）　移輸入は域内マネーの流出を表す

産業連関表の「移輸出」と「移輸入」の差額である「域際収支」は地域の対外収支を示す

— —　需要側　— —　　（単位：億円）

供給側		産業A	産業B	産業C	・・・	小計	民間消費	設備投資	・・・	移輸出	最終需要計	移輸入	合計
生産物の供給	産業A 産業B 産業C ・・・ ・・・ 小計	中間需要（中間投入）								市外へ販売 1,198		市外から購入 ▲1,286	生産額
生産要素の供給	労働 資本 ・・・ 小計	付加価値											
	合計	生産額											

［市外へ販売した額］と［市外から購入した額］の差額に注目

移輸出　＜　移輸入 → 朝来市の域際収支は赤字

朝来市産業連関表各基準年の域際収支　（単位：億円）

基準年	移輸出額	移輸入額	域際収支
2009	1,081	1,169	△ 88
2014	1,012	1,148	△ 136
2019	983	1,056	△ 73
2024	1,198	1,286	△ 88

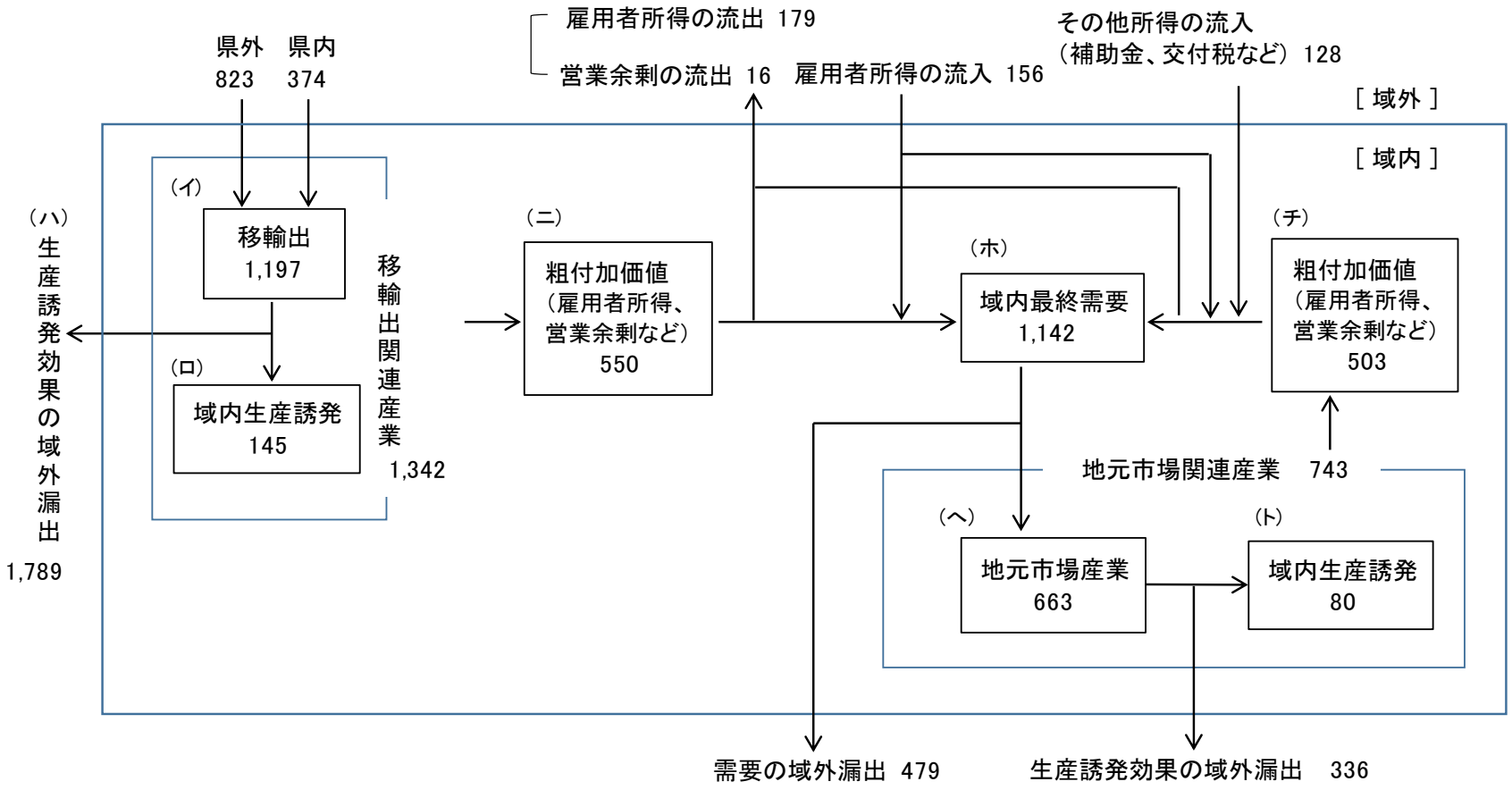
朝来市2024年の移輸出額上位 5産業と 当該産業の域際収支　（単位：百万円）

	移輸出額	移輸入額	域際収支
金属製品	21,533	3,558	17,975
飲食料品	19,177	11,028	8,149
一般機械	16,856	9,835	7,021
電力	10,949	1,329	9,620
卸売小売	8,670	14,324	△ 5,654

２　朝来市の経済循環構造

（1）　マネーの循環フロー図

- 2024年朝来市のマネー循環をみると下図のようになる（単位 億円）。



２　朝来市の経済循環構造
（２）　具体的数値による補足説明１

- (イ)→(ロ)→(ハ)：2024年の朝来市では、県外への移輸出 823億円、県内への移輸出 374億円、合わせて 1,197億円の移輸出向けの生産が行われ、その生産に必要な中間財やサービスの調達を含めると、移輸出によって 3,131億円の生産が誘発される。そのうち、域外からの中間財・サービスの調達分 1,789億円を除いた 1,342億円が市内の移輸出関連産業の生産額となる。その内訳は、1,197億円が移輸出産業の生産額、145億円が移輸出によって生じる生産誘発産業の生産額である。

- 朝来市では、移輸出産業の実に73.0%は製造業によって占められ、それに次ぐのが電力業の 9.1%である。農林業などの第１次産業は 2.8%にすぎない。移輸出によって市内に誘発される生産誘発産業の生産額を業種別にみると、製造業で多く使用される電気を提供する電力業（誘発額の30.6%を占める）をはじめ、出荷業務をサポートする運輸業（同じく15.4%を占める）や施設管理、警備、人材派遣などビジネスサービスに関わる対事業所サービス業（同じく14.6%を占める）で大きい。

２　朝来市の経済循環構造
（３）　具体的数値による補足説明２

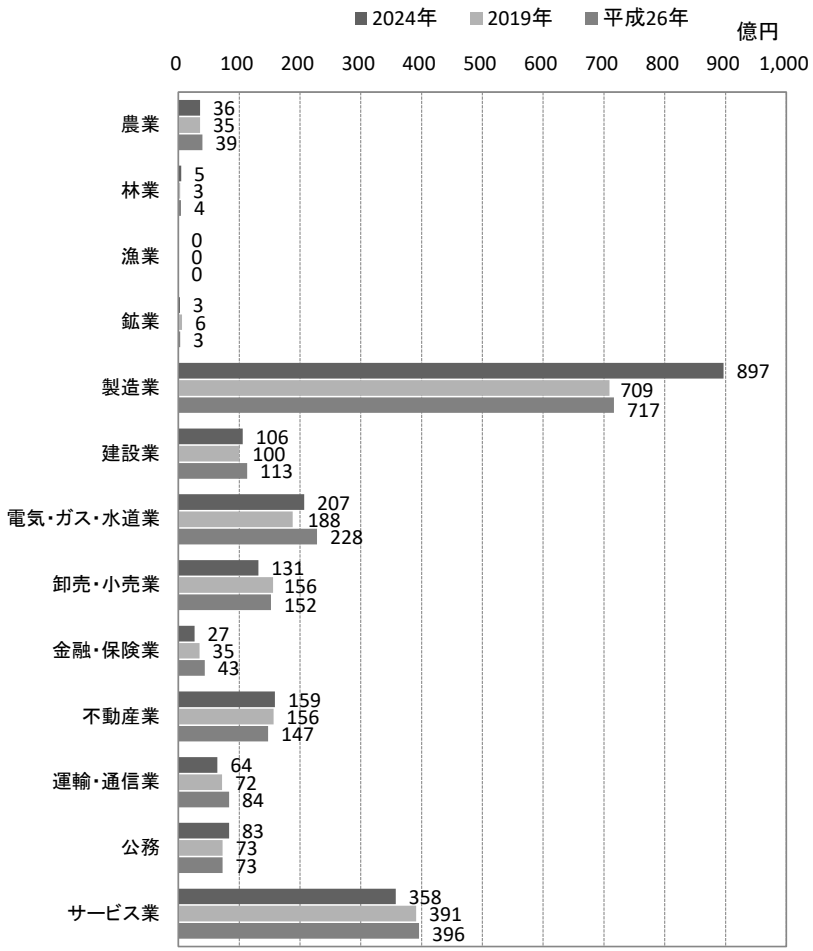
- (ニ),(チ)→(ホ)：2024年の朝来市では、移輸出産業及びその生産誘発産業から生じる粗付加価値額は 550億円であり、そこに後述の地元市場関連産業からの粗付加価値 503億円とが還流し、さらに 195億円の粗付加価値の域外への流出（雇用者所得 179億円、営業余剰 16億円）と、284億円の域外からの流入（雇用者所得 156億円、交付税等のその他所得 128億円）が加わって、域内最終需要 1,142億円となる。

- (ホ)→(ヘ)→(ト)：2024年の朝来市では、域内最終需要 1,142億円のうち、479億円が移輸入によって賄われ、残り 663億円が地元市場へ振り向けられる。その結果、地元市場産業に必要な財・サービスの調達を含め、地元市場関連産業として 1,079億円の生産が誘発される。そのうち、域外からの財・サービスの調達分 336億円を除いた 743億円が市内の地元市場関連産業の生産額となる。地元市場産業によって生じる生産誘発産業の生産額は 80億円である。

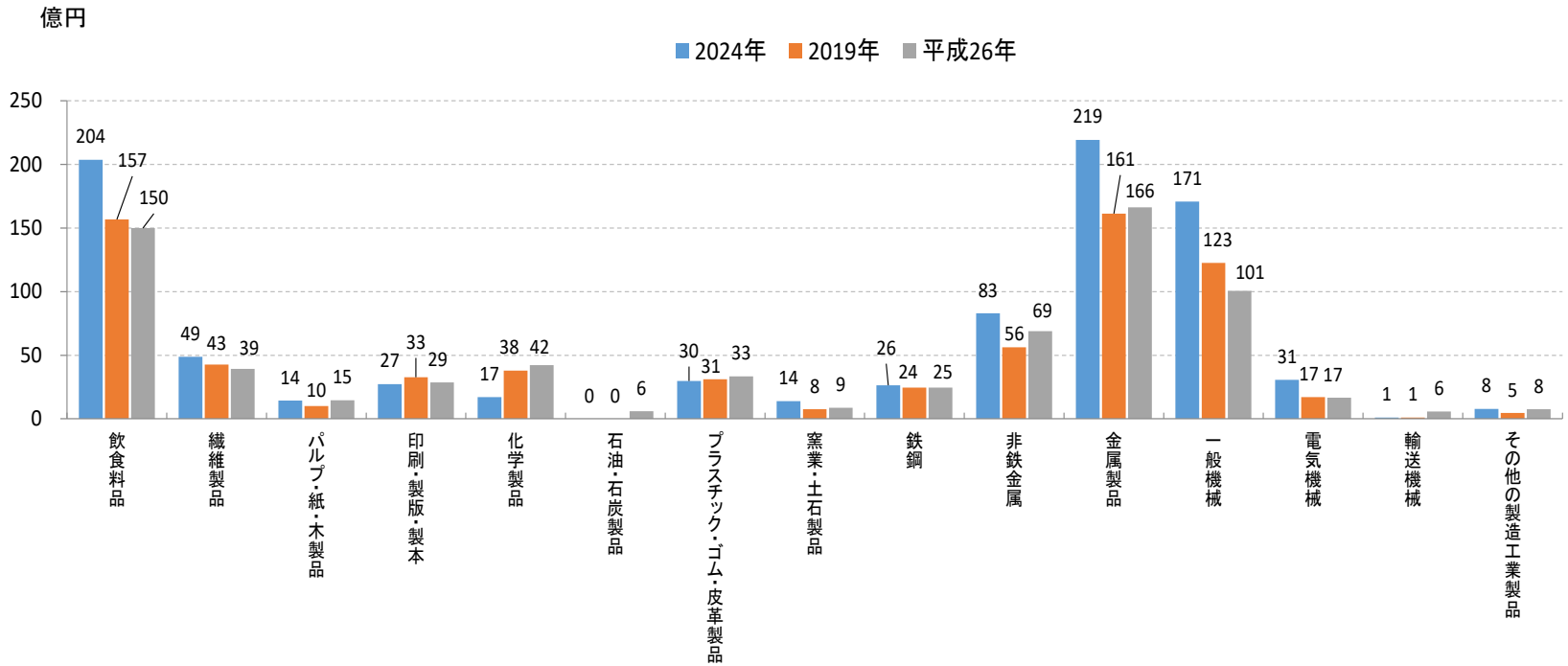
- 朝来市の地元市場産業の生産額を産業別にみると、教育や公務、医療・福祉などの公共サービスが 38.2%、建設・不動産が 33.9%でこれら2分野で7割強を占めている。次いで、流通・生活関連サービスの 13.1%となっている。ビジネスサービスや製造業などの構成比は小さい。

３　朝来市産業の生産構造

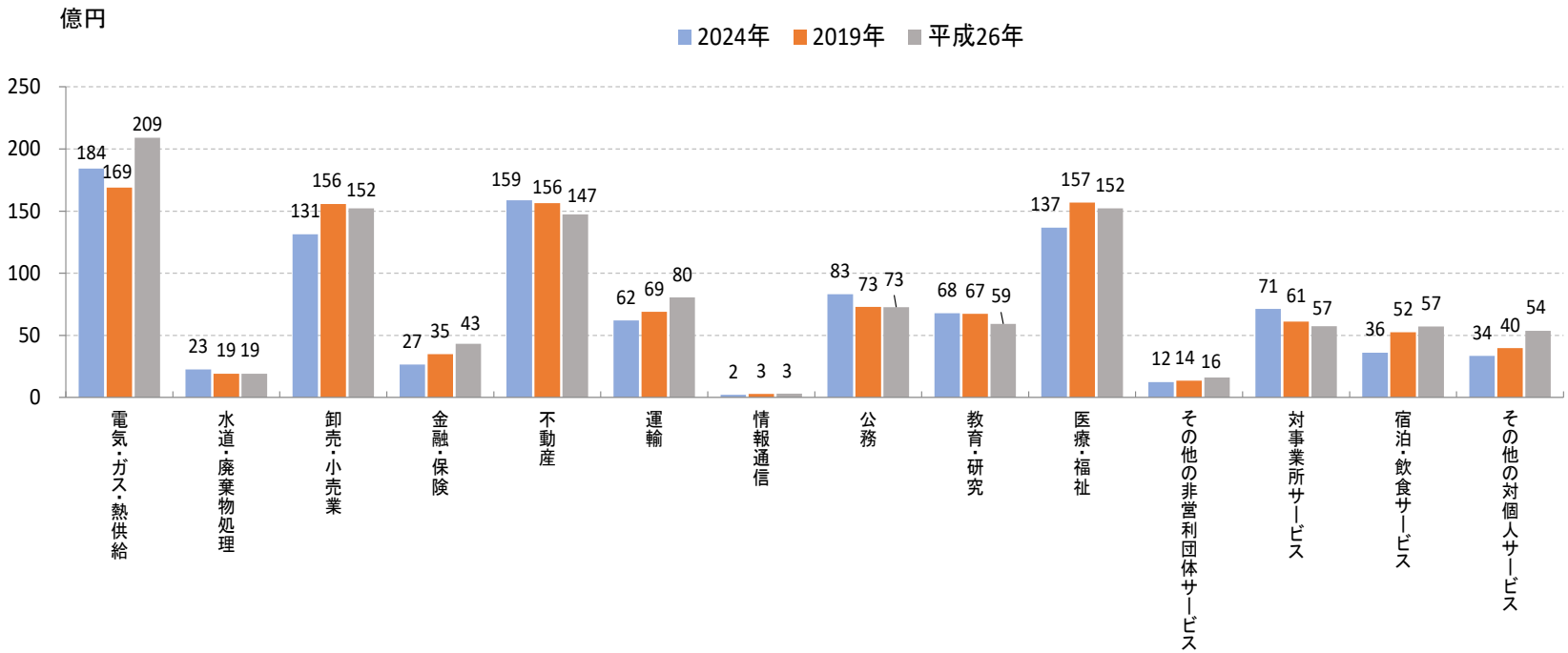
（1）　朝来市の産業別生産額推移（14部門）



３　朝来市産業の生産構造
（２）　朝来市の製造業種別生産額推移

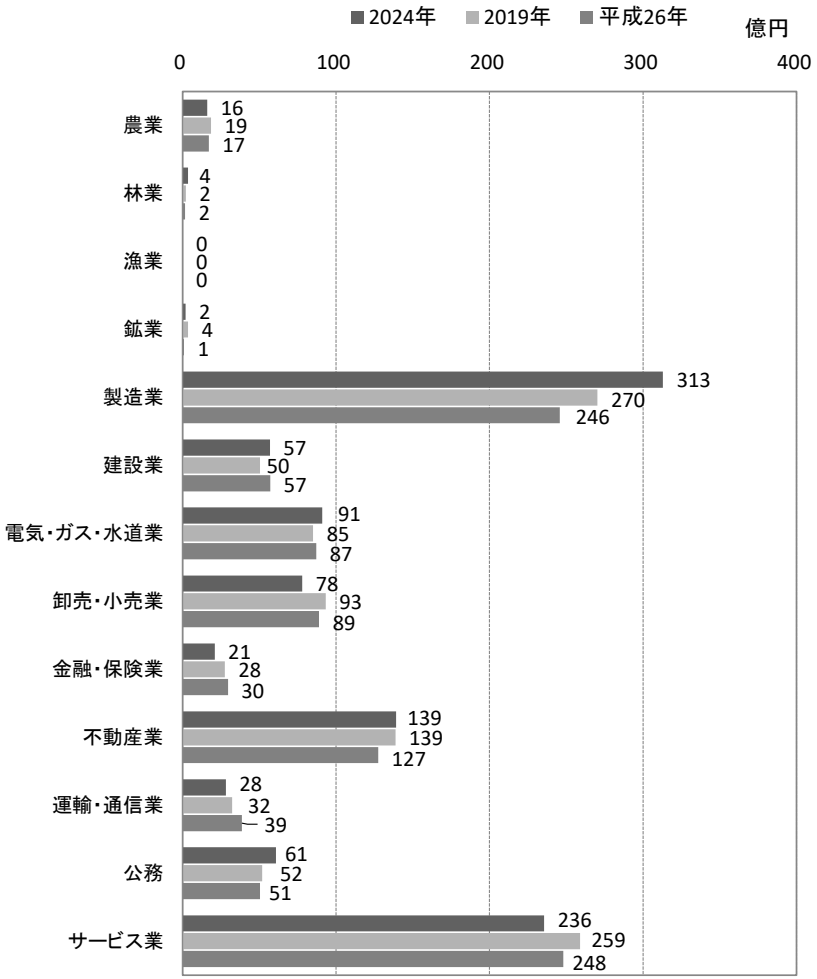


３　朝来市産業の生産構造
（3）　朝来市のサービス業種別生産額推移



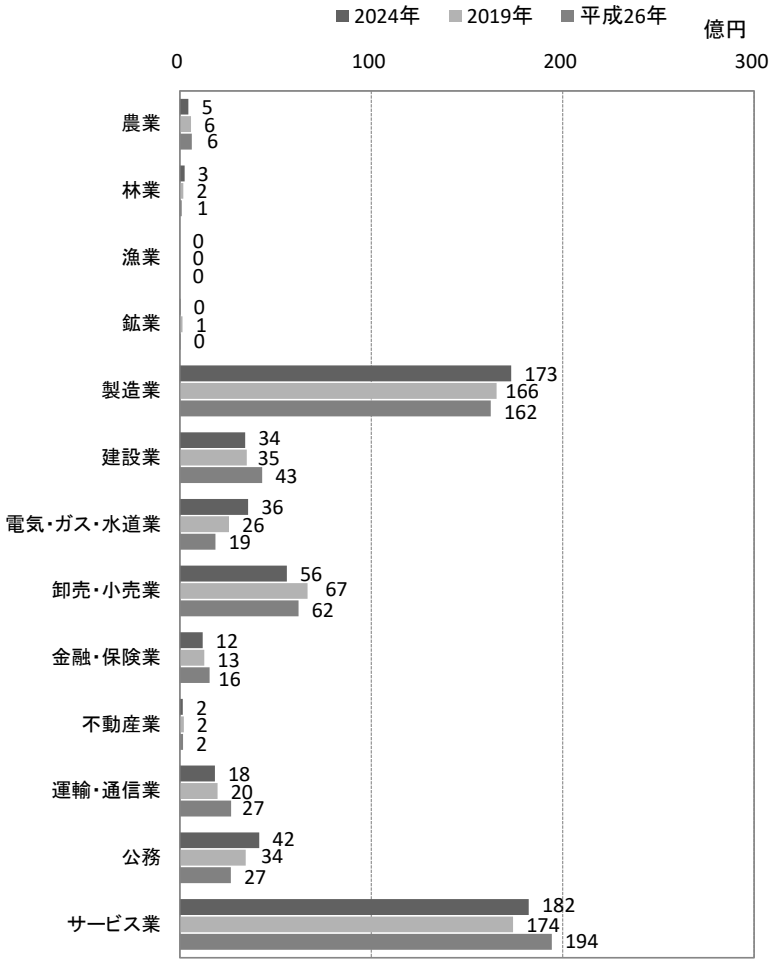
３　朝来市産業の生産構造

（4）　朝来市の産業別粗付加価値推移（14部門）



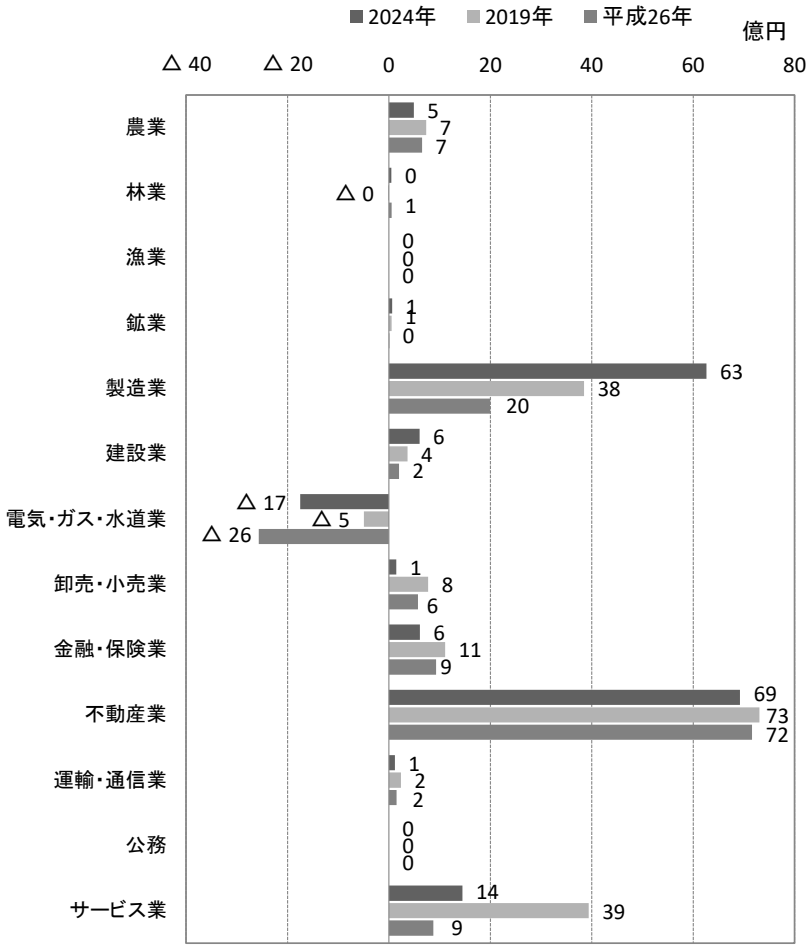
３　朝来市産業の生産構造

（5）　朝来市の産業別雇用者所得推移（14部門）



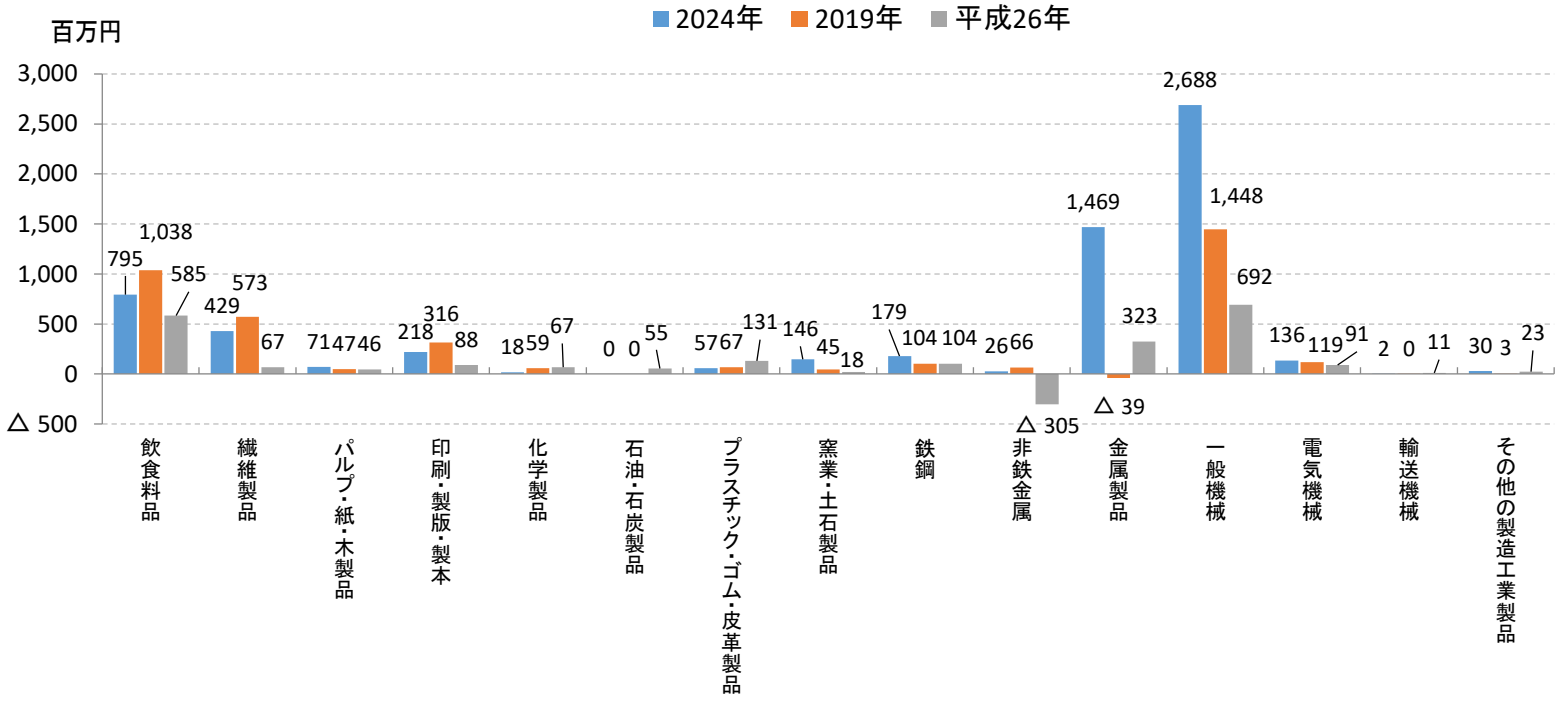
３　朝来市産業の生産構造

（６）　朝来市の産業別営業余剰推移（14部門）



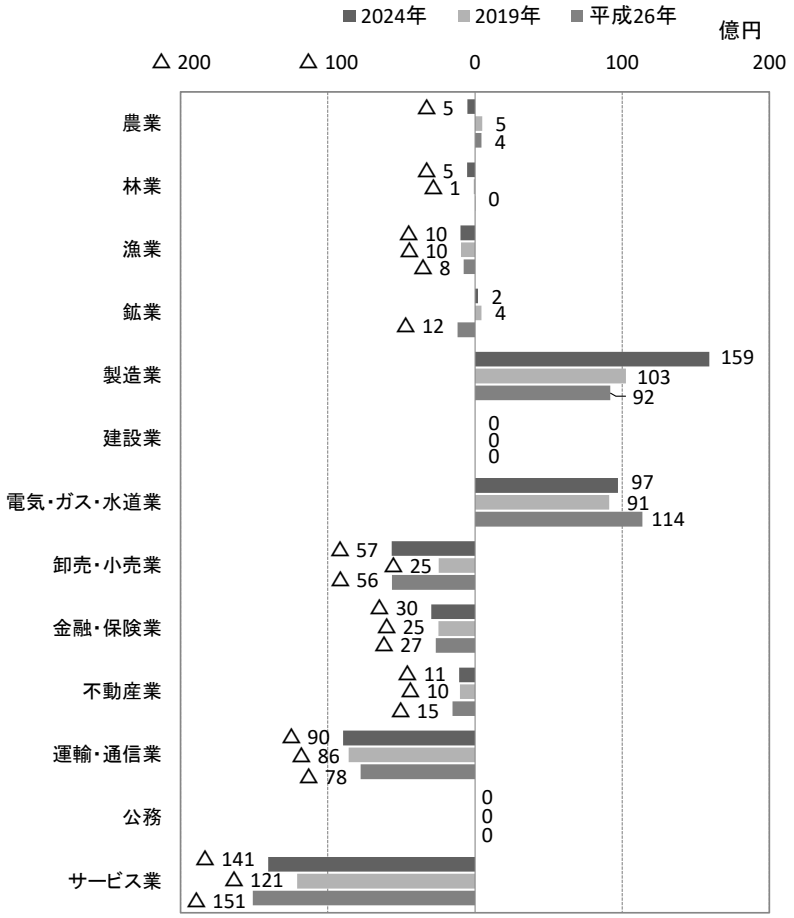
３　朝来市産業の生産構造

（7）　朝来市の製造業種別営業余剰推移



４　朝来市産業の域際収支構造

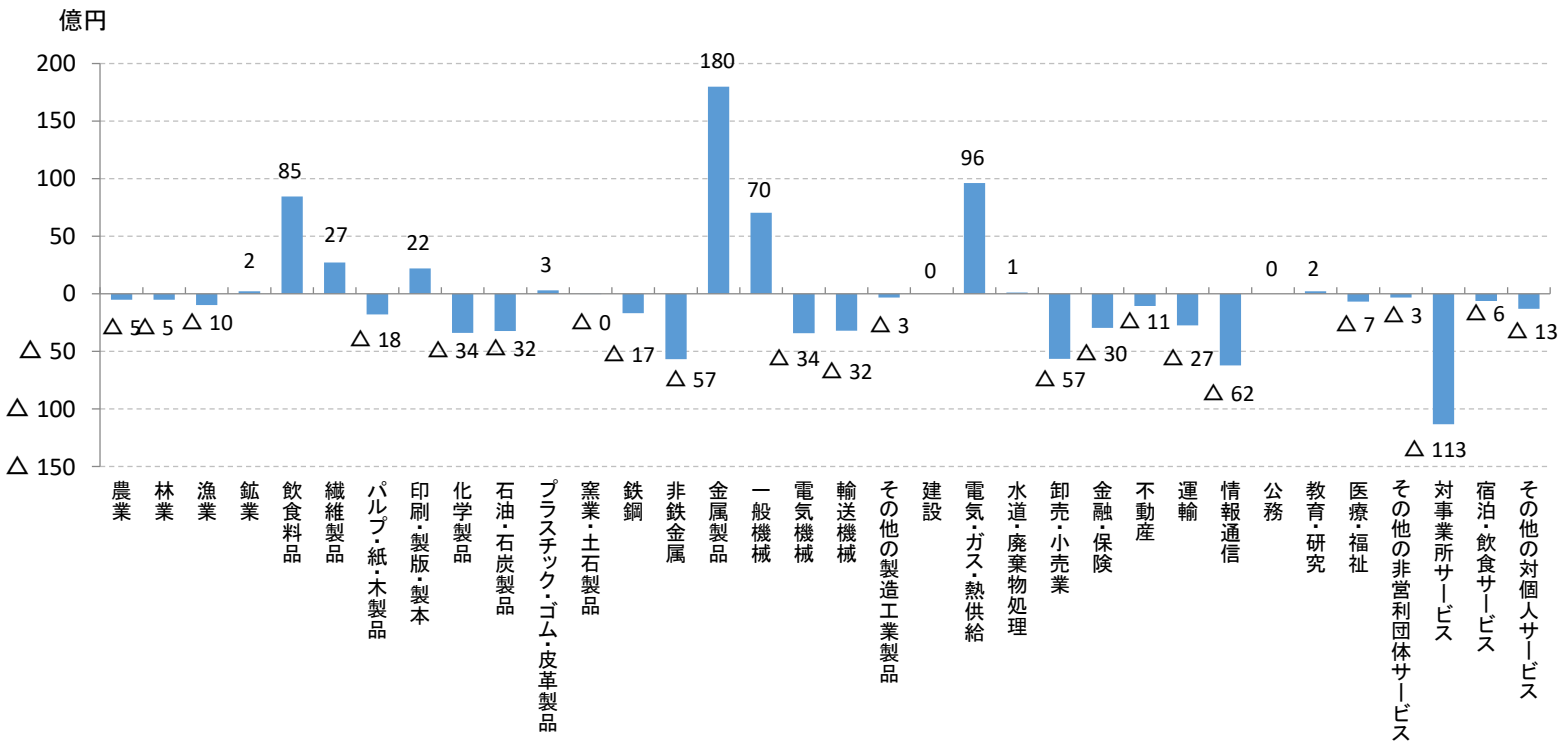
（1）　朝来市の産業別域際収支推移（14部門）



４　朝来市産業の域際収支構造

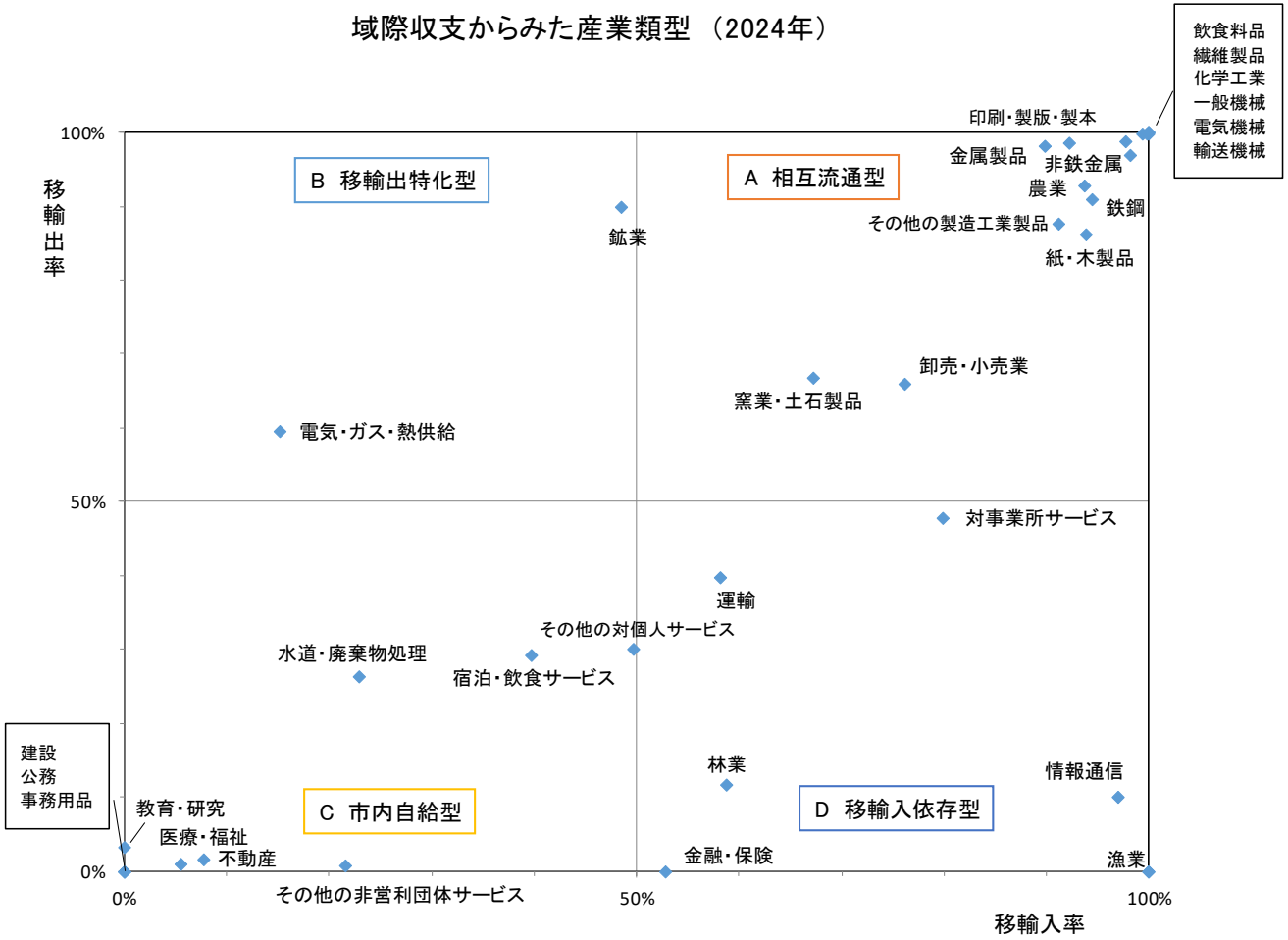
（２）　朝来市の産業別域際収支（36部門）

- 下図は 2024年の産業別域際収支額を示す



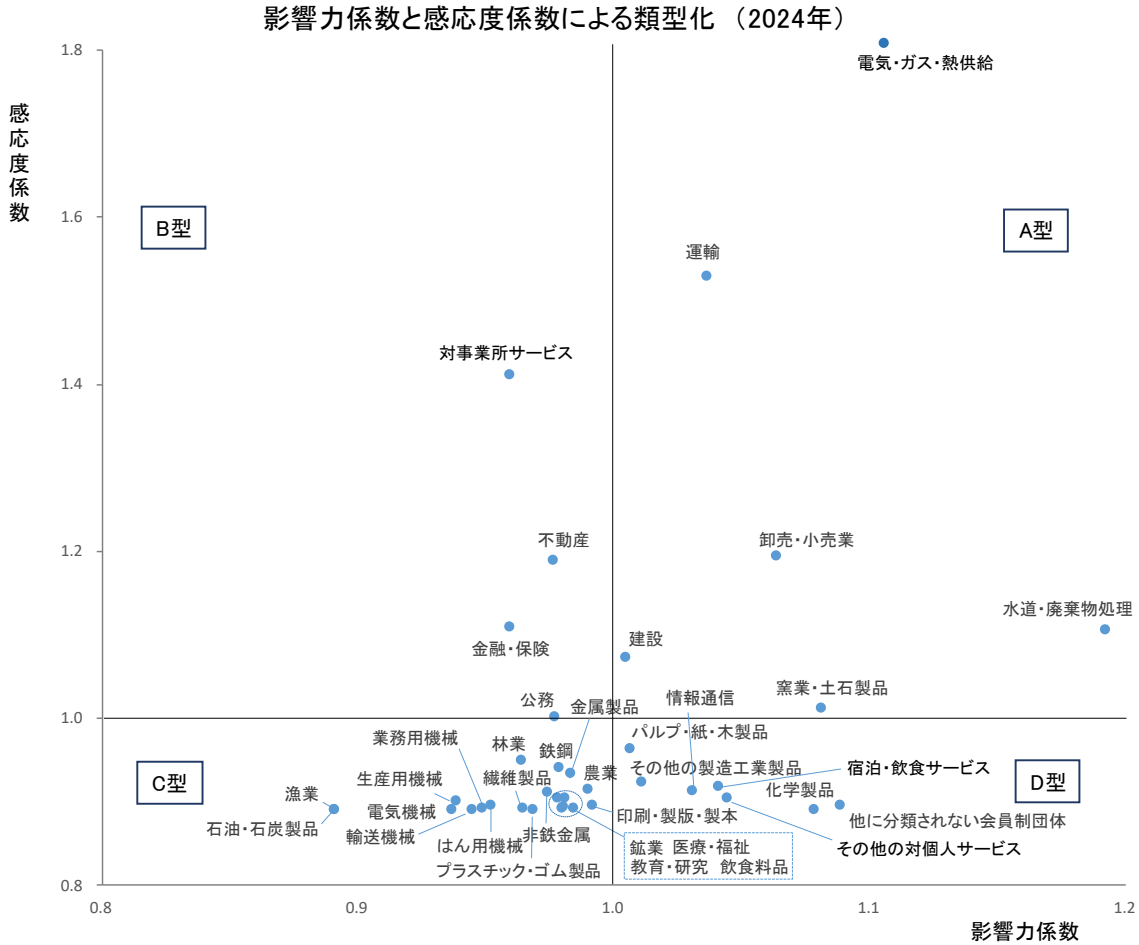
4　朝来市産業の域際収支構造

（3）　域際収支からみた産業の類型化



5　産業部門相互の影響

- やや専門的分析であるが、産業連関表から計算される「影響力係数」、「感応度係数」と呼ばれるものがある。
- この2つの指標から産業を右のように4類型に分けることができる。



A 型	他部門に与える影響、他部門から受ける影響がともに大きい
B 型	他部門に与える影響は小さく、他部門から受ける影響が大きい
C 型	他部門に与える影響、他部門から受ける影響がともに小さい
D 型	他部門に与える影響は大きく、他部門から受ける影響が小さい